

## 正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申し上げます（2018年2月20日）

### ■第1版 第2刷（2016年6月25日発行）～ 第1版 第1刷（2015年11月1日発行）の修正・更新箇所

| 頁   | 場所             | 修正前   | 修正後   | 補足                       | 掲載       |
|-----|----------------|---|---|--------------------------|----------|
| 1章  |                |   |   |                          |          |
| 19  | 上から7行目         | ●測定したICFはICFコード…  | ●測定したICF(「活動と参加」)はICFコード…                     |                          | 18/02/20 |
| 3章  |                |   |   |                          |          |
| 105 | 表1内のAISのC      | …残存しているが、筋カグレードで…   | …残存しているが、 <b>Key Muscleの半数以上の筋</b> で筋カグレードで…  | ※1参照                     | 18/02/20 |
|     | 表1内のAISのD      | …機能が残存していて、筋カグレード…  | …機能が残存していて、 <b>Key Muscleの半数以上の筋</b> で筋カグレード… |                          |          |
| 4章  |                |   |   |                          |          |
| 226 | 下から11行目        | Train-Then Place  | Train-Then-Place                              | 「Then」と「Place」の間に「-」を入れる | 18/02/20 |
| 227 | 図2の最上部         | Train-Then Place  | Train-Then-Place                              | 「Then」と「Place」の間に「-」を入れる | 18/02/20 |
| 227 | 下から3行目         | Train-Then Place  | Train-Then-Place                              | 「Then」と「Place」の間に「-」を入れる | 18/02/20 |
| 289 | 「2.TKAの場合」の指導図 | 図の右上の「 <b>両手で台で支えながら非術側で荷重しての立ち上がりを促す</b> 」を削除し、図の左上の「 <b>長座位から四つ這いになってもらう</b> 」を「 <b>長座位から非術側の膝で荷重して立ち上がる</b> 」に修正 |   | ※2参照                     | 18/02/20 |
| 5章  |                |   |   |                          |          |
| 323 | 本文下から4行目       | 実働  | 実働  | 「働」を「動」に訂正               | 18/02/20 |

#### 図表

※1

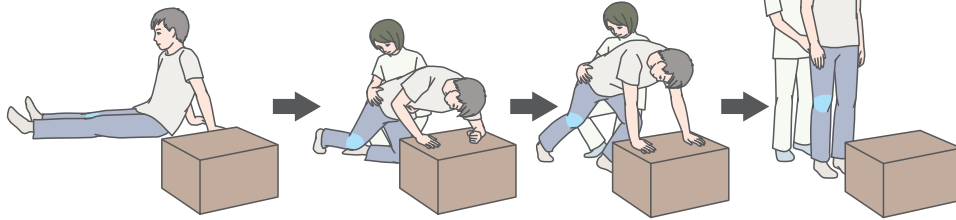
表1 麻痺の程度を示す評価基準（フランケル分類とAIS）

| 等級                          | A                               | B  | C   | D   | E   |
|-----------------------------|---------------------------------|--|---|---|---|
| フランケル分類                     | Complete<br>損傷部以下の運動・知覚の完全麻痺    | Sensory Only<br>損傷部以下の運動の完全麻痺。知覚が残存する                      | Motor Useless<br>損傷部以下の運動機能はわずかに残存しているが、実用性なし                           | Motor Usefull<br>損傷部以下の実用的な運動機能が残存している                            | Recovery<br>運動・知覚麻痺、膀胱直腸障害などの神経学的症状を認めないもの。深部反射は亢進していてもよい |
| AIS (ASIA impairment scale) | Complete<br>S4～S5 髄節の運動・知覚の完全麻痺 | Incomplete<br>神経学的レベルより下位の運動の完全麻痺、知覚は神経学的レベル以下やS4～S5 髄節で残存 | Incomplete<br>神経学的レベルより下位の運動機能はわずかに残存しているが、Key Muscleの半数以上の筋で筋カグレードで3未満 | Incomplete<br>神経学的レベルより下位の運動機能が残存していて、Key Muscleの半数以上の筋で筋カグレード3以上 | Normal<br>運動・知覚機能は正常                                      |

指導

長座位から  
非術側の膝で  
荷重して立ち上がる

リハ職は術側に位置し  
骨盤を介助。術側は  
膝立ち位で強く荷重  
しないようにする



必要に応じて台などを  
使用するように指導す  
るとよい

膝立ち位での強い荷重、  
あぐらや正座での深屈曲位は  
脱臼リスクを高めるため注意する